

上林川を美しくする会の活動

上林川を美しくする会は、平成 13 年 7 月に上林川の清流をよみがえらせ、次代に引き継ぐことを目的として設立し、市民・事業者・行政の協働により河川環境を守ることを中心とした環境保全に関する様々な取組を実施しています。

会員は現在 31 団体と 67 名で、4 つの部会に分かれ活動しています。

◎排水を考える部会



家庭や事業所、農業濁水が川に与える影響について調査し、排水浄化の方法について検討、実践を行っています。

◀農業者団体との座談会

◎水質保全部会

定期的に上林川の水質調査を行い、川の状況を把握したり、地元の小中学校の児童・生徒と一緒に毎年水生生物調査を行っています。



▲地元小学生との水生生物調査

◎景観保全部会

川の景観保全や水質浄化を図るため、市民の参加を得て、川原のヨシ刈り作業や環境美化大作戦などの清掃活動を行っています。



▲ヨシ刈り作業



上林川を美しくする会
マスコットキャラクター
「みもりん」

◎啓発部会

年 2 回の機関誌の発行や、川の環境保全活動などに取り組まれている団体などへの視察研修を行っています。



機関誌の発行▶

川を美しくする意識の高揚を図り、環境保全・美化活動を推進するための啓発や、近年森林の荒廃が叫ばれる中、川の魚が育ちにくくなった現状をふまえ、水の源である森林に着目したモデルフォレスト事業への参画も行っていきます。

また、次世代を担う子どもたちが水生生物調査などを通じてふるさとの川に親しみ、たくさんのお話を学ぶ場ともなっています。

昨年は、日本とスイスの国交樹立 150 周年記念として、上林中学校とスイス「ヌーシャテル道場」との国際交流活動に参画し、海外の皆さんに上林の原風景の素晴らしさを知っていただくことができました。

これらの活動に対して、平成 16 年度「京都府府民運動推進者表彰」(知事)、平成 21 年度に「京都水宣言記念・京都水づくり賞」(知事)を、平成 23 年度には、「水・土壌環境保全活動功労者表彰」(環境省水・大気環境局長)を受賞しています。